

第5章 ライフステージに応じた健康福祉のかかわり

○ 健康福祉は人の一生を通じてかかわるものであり、一人ひとりのライフステージに応じて、切れ目なく、また必要に応じて複数の分野が連携して支援を行っていくことが大切。
また、これからは、すべての人が健康福祉の支え手として活躍することも期待される。

	乳幼児期	就学期	就労期		高齢期	
			前期	後期	前期	後期
ライフステージ毎に必要なとされる主な支援	子どもの健やかな成長		経済的に自立した生活			
	・妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談・支援の充実 ・母子保健、小児・小児救急医療体制の充実					
	社会人としてふさわしい能力を身につける		希望する人が結婚や子どもを持つことができる			
	・小・中・高等学校を通じた体系的・系統的なキャリア教育の推進					
	地域における子育て支援の充実		出産・子育てと社会生活の両立			
	・気軽に親子で集える場の充実、きめ細かな子育てに関する情報やサービスの提供 ・保育所、病児・病後児保育、休日保育、延長保育など多様な保育サービスの推進					
	放課後を安全・安心に過ごす		親の介護や病気の治療と社会生活の両立		必要なサービスを受けて地域で安心して暮らす	
	・放課後児童クラブの計画的な整備、放課後子ども教室の拡大					
	子どもの貧困の解消、児童虐待の防止、適切な養育の実施					人生の最後の時期を自分らしく過ごす
	・学校教育による学力保障 ・ひとり親家庭等の親の生活の安定と向上のための総合的な支援 ・保育所や学校、病院等との連携を強化した児童虐待の予防、早期発見・早期対応 ・家庭的養護(里親・ファミリーホームへの委託、養護施設の小規模化)の推進					
健康的な生活習慣の獲得		健康的な生活習慣と定期的な健診による生活習慣病の予防		社会の担い手として生きがいを持って暮らす		
・家庭を中心に学校や地域と連携した、こころと身体の健康的な生活習慣の基礎づくり ・がん等の生活習慣病に関する正しい知識に関する学習機会の確保		・誰もが、地域・職場等で健康教育、特定健診・特定保健指導、がん検診等を受けることができる環境を整備 ・健康経営に取り組む企業と健康保険組合等が連携して、従業員の健康増進を図る		・高齢者の就労支援や、地域活動、生涯学習、ボランティア等の活動機会の確保 ・地域で高齢者が気兼ねなく参加できる介護予防事業や健康づくり活動の充実		
特別支援教育の充実		障害のある人への就労支援				
・校内支援体制の整備、教員の専門性の向上及びインクルーシブ教育システムの構築並びに特別支援学校の過大化の解消やスクールバスの増車		・障害のある人の職業能力の開発支援、障害者雇用に向けた企業への働きかけ ・トライアル雇用やジョブコーチなどの就労支援策の活用促進				
障害のある子どもへの療育・医療支援		障害のある人の地域生活を支える体制の整備				
・「医療療育総合センター(仮称)」を中心とした発達障害医療ネットワーク及び重心療育ネットワークの構築 ・重症心身障害児者の施設や病床の整備		・グループホームの整備促進支援制度による住まいの場の確保 ・障害のある人やその家族のニーズを適切に地域の福祉サービスにつなぐ相談支援体制の充実 ・障害のある人の社会参加を促進するためのコミュニケーション環境の充実				
基盤となる支え合い・制度					年金制度	
	子ども・子育て支援新制度				介護保険制度	
			障害福祉サービス			
			医療保険制度			
			公的扶助(生活保護制度)			
			地域での助け合い・支え合い			